

## 麒麟山 (東蒲・津川町)

■環境：山地  
 ■対象：一般  
 ■期間：4月下旬～6月中旬

阿賀野川と常浪川の合流地点にそびえ津川町のシンボルになっている山。津川城跡の一角が公園になっていて、鳥類や動植物相は豊かである。

### 〈春から初冬にかけて見られる鳥たち〉

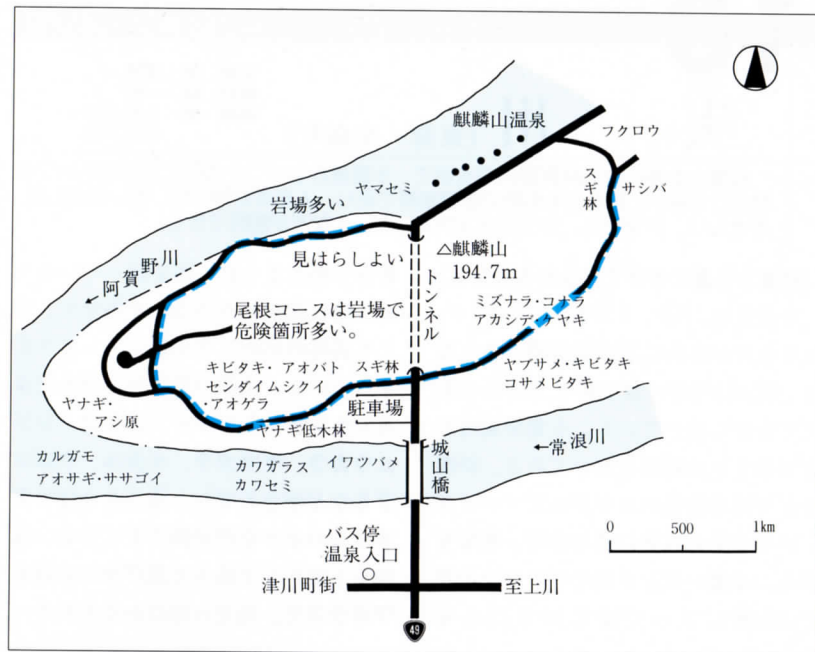
マンサクの花が咲き始める早春のころともなると、カラ類(シジウカラ、ヒガラ、コガラ、ヤマガラ)のさえずりが頻繁に聞かれるようになり、呼応するようにアオゲラの大きな声が樹林に響き渡る。4月上旬には、早くもイワツバメが渡来し、城山橋の橋げたに作った巣の補修のために忙しそうに飛び交う。4月下旬～5月の連休を挟んで夏鳥のセンダイムシクイ、オオルリ、キビタキ、ヤブサメなどが渡ってきて年間を通じて最もにぎやかな季節となる。

6月、北上途中のシマセンニューとコヨシキリが河川敷の低木林でさえずり、樹林の中ではコメボソムシクイの群れも観察できるようになる。アシ原ではオオヨシキリが終日歌い続ける。川面を飛ぶのはカワガラスやカワセミ、ヤマセミなどで、常浪川と阿賀野川の合流部やよどみではカイツブリやカルガモ、アオサギ、ササゴイなどを見ることができる。

7月、野鳥のさえずりはあまり聞かれなくなり、代わってセミしぐれが夏の暑さを楽しむかのようににぎやかさを増してくる。やがて紅葉が始まるこ



冬の麒麟山



ろともなると、南下するヒヨドリやイカル、混群となって移動するカラ類が目立つようになってくる。

11月に入ると、落葉期を迎え、冬鳥のカシラダカやアトリ、ジョウビタキなどが観察されるが、春のころに比べ群れの数はい少ないようだ。それでも樹林の中ではヒガラ、コガラ、ヤマガラ、シジウカラといったカラ類やエナガ、コゲラ、アオゲラ、アカゲラなどのキツツキ類を見ることができ、時々キバシリの姿も観察できるようになる。11月下旬、初雪を迎え12月に入ると麒麟山は本格的な冬の季節へと移行する。

(渡部 通)

### メモ

**交通** JR津川駅から新交貸し切りバス(栃堀行き、室谷行き、丸瀨行き)に乗り「温泉入り口」で下車。そこから徒歩5～10分。

☐ 麒麟山公園前の駐車場を利用。20～30台駐車可能。

トイレは駐車場と散策路に2カ所ある。  
**探鳥会** 新潟県と地元東蒲自然同好会が共催となって例年5月上旬に行っている。

問い合わせ先：渡部通

☎02549-2-5045